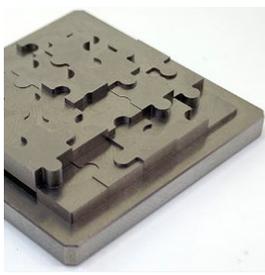


2023年度最終審査結果 受賞テーマとデザイン提案

<p>テーマ</p> <p>職人技で古美色を再現する 「硫化燻し加工技術」 企業：株式会社富士産業（葛飾区）</p>	 <p>硫化燻し(りゅうかいぶし)、または古美(ふるび)色といわれるもので、自社でエイジング加工技術を確立した。本物のアンティークのような色艶を真鍮素材に与えることが可能で、エイジングだけでは製品ができないため、シームレスな溶接の技術も確立した。</p>	<p>最優秀賞</p>	<p>提案</p> <p>時を自在にデザインする 真鍮ブランドの提案 提案者：榎本清孝、村上麻衣子 (株式会社トムテ)</p>
<p>企業の高い技術力とデザインの力で、真鍮に新たな価値を与え事業拡大していくブランドプロジェクトの提案。</p>			

<p>テーマ</p> <p>独自のゴム配合設計と幅広い加工技術 企業：株式会社江北ゴム製作所（足立区）</p>	 <p>ゴムのさまざまな特徴を活かし、耐熱性や耐候性、衝撃吸収性など多くの機能を自社の配合技術で付与することが可能。近年の衛生面での意識の高まりから、不特定多数が触れる箇所や食品に直接触れる部品機器に対する不安を払拭する、新たな機能を持つゴム素材の開発に取り組んだ。</p>	<p>優秀賞</p>	<p>提案</p> <p>自然に優しいゴムと廃棄材を融合させたプロダクトブランドの構築 提案者：土井智喜 (soell株式会社)</p>
<p>既に社内で開発していた素材に対し、より世界観を広げるにはどうするか、具体的にどういった用途が考えられるかを提案。</p>			

<p>テーマ</p> <p>ワイヤーカット放電加工による 微細・精密金属加工技術 企業：有限会社オクギ製作所（東久留米市）</p>	 <p>プレス加工事業を進めていく中でプラスチック板のプレス加工に取り組み始め、0.001mm単位の高精度の加工技術を獲得するに至った。現在ではさまざまな金属にも同様に対応できるよう高精度加工技術を磨いている。</p>	<p>優秀賞</p>	<p>提案</p> <p>ワイヤーカット放電加工を活かしたアクセサリブランドの提案 提案者：千頭龍馬、梅村隼多</p>
<p>企業の高度な技術と知見、それらを駆使した製品開発により、BtoC領域への進出だけではなく、技術力をアピールするためのプロモーションツールへの活用、ひいては更なる技術開発のきっかけになること目指したアクセサリブランドの提案。</p>			

2024年度 東京ビジネスデザインアワードの流れ(予定)

<p>企業からテーマを募集 (4月11日～6月24日)</p>	<p>都内ものづくり中小企業から、自社保有の高度な技術や特殊な素材などを「テーマ」として募集。</p>
<p>テーマ発表 (9月)</p>	<p>審査委員会が10テーマ程度を選定し、HP等にて発表。</p>
<p>デザイナーからの提案募集 (9月～10月)</p>	<p>選定テーマに対し、デザイナーがあらゆる可能性を検討し、新たな用途開発を軸とした事業全体のデザインを提案。</p>
<p>一次審査・二次審査 (11月)</p>	<p>一次審査・二次審査を経て、テーマ毎に企業とデザイナーのマッチングが成立したものを「テーマ賞」として選出。</p>
<p>最終審査・表彰式 (2025年2月)</p>	<p>テーマ賞の中からデザイナーの公開プレゼンテーションにより、「最優秀賞」・「優秀賞」を決定。</p>